

授業科目名： 保育内容の指導法 (総合演習)	教員の免許状取得のため の選択科目	単位数： 2単位	あおやぎ かずお 担当教員名：青柳 和夫 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	領域および保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ： 幼児の発達に即した、主体的・対話的で深い学びの追求 「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を幼児が様々な体験を積み重ねる中で追求し、活動を通して「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力が、幼児一人一人に獲得できるように支援することができる			
授業の概要： 目標を達成するためには、どのような指導計画のもとに、どのような活動を計画・工夫し実践していけば、幼児が「やりたい！」という意欲を持つことができるのか、5領域のそれぞれのねらいを踏まえながら、実践に即した授業をすすめていく			

授業計画

- 第1回：幼稚園教育の基本と教育課程の役割
- 第2回：幼児期の発達過程について：3歳～5歳にかけて
- 第3回：幼児理解と学級づくり
- 第4回：幼児との信頼関係づくり
- 第5回：5領域の内容と保育者の役割
- 第6回：幼児に意欲とやる気を持たせる活動
- 第7回：環境の構成と情報機器を活用した教材の工夫
- 第8回：指導計画の作成と活動目標・保育活動計画のあり方
- 第9回：5領域の中の「環境」における目標と保育活動計画について
- 第10回：年間保育活動計画を立案する上での留意点
- 第11回：領域「環境」の年間保育活動計画案の事例紹介
- 第12回：事例についての話し合い
- 第13回：領域「表現」の年間保育活動計画の立案
- 第14回：年間保育活動計画案の振り返りと評価と改善
- 第15回：幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と小学校との接続

定期試験

スクーリングでの学修内容

- ・ 幼稚園教育の基本について学修する（第1回～第4回）
- ・ 5領域の内容と保育者の役割について学修する（第5回～第7回）
- ・ 指導計画と活動目標・保育活動計画について学修する（第8回～第9回）
- ・ 年間保育活動計画案の考察と評価と改善について学修する（第10回～第14回）
- ・ 幼小の円滑な接続について学修する（第15回）

教科書

- （1）文部科学省「幼稚園教育要領解説」平成30年3月

参考書文献

- （1）自作資料（5領域中、1領域の年間保育活動計画案の事例等）
- （2）監修 無藤 隆「幼稚園教育要領ハンドブック」Gakken 2017年
- （3）編著 津金 美智子「新幼稚園教育要領ポイント総整理」東洋館出版社 2017年
- （4）監修 無藤 隆 新訂 事例で学ぶ保育内容
 - 領域「人間関係」 萌文書林 2018年
 - 領域「言葉」 //
 - 領域「環境」 //
 - 領域「表現」 //

学生に対する評価

レポート評価（25％）、スクーリング評価（25％）、科目修得試験（50％）の割合で総合して評価する。

